

外観イメージ

(仮称) 十和田市屋内グラウンド の基本設計がまとまりました

問 スポーツ・生涯学習課 ☎ 2317

市では、旧市民屋内グラウンド（競技面積 900.00㎡）と旧南屋内グラウンド（競技面積 599.86㎡）の耐震性能の低下や耐用年数の超過を受けて、両施設を統合し、（仮称）十和田市屋内グラウンド建設事業を進めています。

これまで、利用者の意見を反映させるため、平成 29 年 5 月に市民会議を設置し検討を重ね、同 9 月に基本構想を策定しました。

この基本構想を踏まえ、さらに施設規模、事業費、施設機能などをより具体的に定める基本計画を策定し、備えるべき機能、内外のデザインなど、（仮称）十和田市屋内グラウンド完成時の姿を示す基本設計がまとまりましたので、概要をお知らせします。

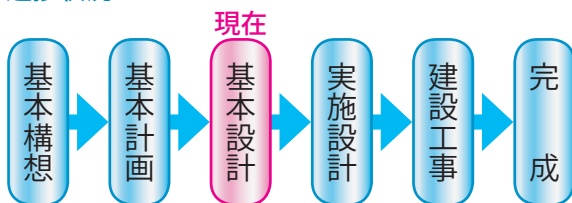
❖ **建設場所** 若葉公園の西側市有地

❖ 施設概要

競技面積 2,340㎡
（旧市民屋内グラウンドと旧南屋内グラウンドの
競技面積を合わせた 1,499.86㎡の約 1.56 倍）
敷地面積 約 6,600㎡
延べ床面積 2,876㎡
構造 鉄筋コンクリート造 + 鉄骨造

❖ **建設費用** 約 17 億 5 千万円（外構工事含む）

❖ 進捗状況



❖ 備えるべき機能

- グラウンドは管理が容易な人工芝とします。
- 日中採光を確保できる膜屋根を採用します。
- 災害機材備蓄倉庫を備えます。
- トイレなどは、高齢者、子ども連れなど、誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルデザインを取り入れます。
- 会議室、シャワー室などを設置します。

❖ 膜屋根の特徴

- ① 天井面から自然光に近い光が均一に入るため明るくなります。
- ② 照明器具による電気代を抑えることができます。
- ③ 冬期間の融雪設備を稼働しても、経費は通常の金属屋根に比べて抑えることができます。

内観イメージ

平成31年4月 着工予定
平成32年4月 供用開始予定